

# 福島県立医科大学々報

## 目 次

○ 学長・副学長就任挨拶 .....	2
○ 学 事 .....	
平成16年度学位授与者（前期） .....	3
○ 人 事 .....	3
○ 諸 規 程 改 正 .....	
平成16年7月から平成17年1月までの諸規程の制定改廃関係 .....	3
○ 評 議 会 ・ 医 学 部 教 授 会 ・ 看 護 学 部 教 授 会 .....	
評議会 .....	4
医学部教授会 .....	4
○ 雑 報 .....	
倫理委員会 .....	5
女性専門外来の開設について .....	6
参与会の設置について .....	6
文部科学省「現代的教育ニーズ取組支援プログラム」の採択について .....	7
平成16年度科学研究費補助金採択状況 .....	8

## ■ 学長就任挨拶



学長 高 地 英 夫

平成16年11月から学長に就任いたしました。

すでに皆様ご存知のように、本学は平成18年度から法人化されることになっております。ですから、法人化の実施までわずか一年余の時間しか残されていないこととなります。現在、医学部・看護学部の執行部を中心に多くの教員や事務局職員の方々の協力の下、法人化へ向けての作業が進められていますが、すでに二月の県議会には法人の枠組みを決定する定款が諮られることになっております。そして、その後も本学の意見を取り入れながら、法人化への枠組みが逐次設定される予定です。これから法人化までの膨大な作業量を考えますと、すでに秒読みの段階に入りつつあるといっても過言ではないように思っています。

そもそも法人化とは、教育研究の高度化、グローバル化と社会への貢献などに柔軟に対応するため、大学運営の活性化、効率化、個性豊かな大学などを目指すことによって、大学改革の推進基盤にしようとするものです。法人化されますと運営の透明性の確保や評価による検証などを条件として、大学の自主性・自律性が尊重され、柔軟かつ速やかな対応が可能になるものと考えられています。このことは、大学を構成する教職員の皆様も、もしも法人化の意味を認識せず、法人化への努力あるいは法人化後の努力を怠った場合には、法人化が大学自らを刺す諸刃の剣になりかねないということを意味しています。

本学は医学部と看護学部を併せ持つ医療系大学であり、附属病院があるために、法人化に当たっては解決しなければならない多くの課題があることは否定できません。法人化そのものによる問題点もなしとはしません。しかし、現に矢は放たれたのです。ですから今は法人化をいかにして本学発展の契機とするかの努力をするべきであろうと考えます。すべての教職員の皆様一人一人が本学の将来に関わるという認識のもとに、法人化を自らの問題として捉え、叡智を集めて積極的に今後どのようにしたいか、どのようにしたら良いかを真剣に考えて頂きたいと思っています。

本学が将来発展を期待できるような仕組みで、かつ円滑に法人化へ移行できるよう務めることが私に与えられた責務であろうと考えています。何卒教職員の皆様が共通の認識のもとにご協力くださるよう切にお願いし、挨拶といたします。

## ■ 副学長就任挨拶



副学長 鈴 木 仁

(医学部小児科学講座 教授)

平成16年12月1日付で副学長を拝命し、小児科学講座を兼任することになりましたので、ご挨拶申し上げます。

副学長の職制が設置されたのは、昨年の5月ですから、設置後まだ1年も経っていない新しいポストです。今、本学は、早急に解決せねばならない多くの課題を抱えており、極めて重要な時期にあります。責任重大ですが、高地英夫学長を補佐させて頂き、設置者である県と本学とのパイプ役を務めさせて頂きながら、母校である本学の発展、そして地域医療向上のため、微力を尽くしたいと存じます。

本学は、現在、独立法人化に向けて、地域に密着した独創性豊かな大学創りを中期目標に掲げ、平成18年4月実施を目途に、全学あげて取り組んでおります。目標達成のため邁進することは勿論ですが、重要なことは、その先、誰からもよい評価を得ることができる大学に発展していくことだと思います。

開学以来、諸先輩は、並々ならぬ苦勞を重ねて、本学の歴史を培って来られました。私達は、これら永年の歴史をもとに、医育機関としての役割を再認識し、名医を目指すのではなく、ヒトに信頼される、人間性豊かな、臨床に強い良医を育成し、臨床の裏づけとなる研究を推進して行ける人材を一人でも多く育てて行かねばなりません。これら地道な教育の積み重ねにより、優れた医療人、そして研究者が育成され、世間からも高く評価される大学になって行くと思っております。

すなわち、附属病院は、高度先進医療と本県地域医療の拠点になり、県民、そして県内医療従事者の拠り所として機能する施設になって、さらには、国際的に高い水準の研究機関にもなって行くのだと考えております。

しかし、組織というものは、一挙には、改正も、改革もされぬものようです。ですから、目の前にはっきり見えるものから、1つ1つ実行に移すべく心掛け、魅力ある大学創りのお役に立てるよう努力して行きたいと考えておりますので、よろしくご支援の程、お願い申し上げます。

## 学 事

### ■ 平成16年度学位授与者（前期）

〔博士（医学） 平成16年 9月授与〕

氏 名	学 位	論 文 名
神山 峰由	総合失調症の SPEM 障害に対する認知行動療法の効果の持続性と SPEM 障害に及ぼす要因の検討	
滝口 純子	Anti-eosinophil peroxidase antibodies in detected in patients with primary biliary cirrhosis (原発性胆汁性肝硬変患者における抗好酸球ペルオキシダーゼ抗体の検討)	
橋本 敏	低栄養妊娠ラットにおける子宮内プログラミングによる高血圧発症機序	
大杉 拓	Preventive effect of chronic endothelin type A receptor antagonist on coronary microvascular spasm induced by repeated epicardial coronary artery endothelial denudation in pigs. (心外膜側冠動脈内皮反復損傷豚モデルにおける冠微小血管攣縮に対するエンドセリンA型受容体拮抗薬慢性投与の有効性)	
引地 拓人	The optimal form of immunization with protein and oligodeoxynucleotides containing CpG motif for inducing gastrointestinal mucosal immune response in mice (CpG モチーフを含むオリゴ DNA と抗原蛋白の共投与によりマウスに消化管粘膜を誘導する際の最適な免疫方法の検討)	
斎藤 純平	Exhaled Nitric Oxide as a Marker of Airway Inflammation for an Epidemiological study in School Children (学童において呼気中 NO(eNO)はアレルギー性気道炎症の良い疫学的指標となる)	

## 人 事

## ◎学 長

任命換 16.11.2 学 長 高地 英夫

## ◎副学長

任命換 16.12.1 副学長 鈴木 仁  
(医学部小児科学講座 教授 兼務)

## ◎新任助教授

## 【医学部】

昇任 16.10.1	生理学第二講座	助教授 浄土 英一
昇任 16.10.1	内科学第三講座	助教授 加藤 哲夫
昇任 16.11.1	附属病院安全管理部	助教授 管野 隆三
昇任 17.1.1	臨床検査医学講座	助教授 今福 裕司

## 【看護学部】

昇任 17.1.1	ケアシステム開発部門精神看護学領域	助教授 大川 貴子
-----------	-------------------	-----------

## ◎新任講師

## 【医学部】

採用 16.10.1	麻酔科学講座	講 師 五十洲 剛
昇任 16.11.1	附属病院呼吸器科	講 師 石田 卓

## 【看護学部】

昇任 17.1.1	家族看護学部門母性看護学・助産学領域	講 師 木村 英子
昇任 17.1.1	家族看護学部門母性看護学・助産学領域	講 師 渡邊恵美子
昇任 17.1.1	ケアシステム開発部門環境・保健学/看護管理学領域	講 師 稲毛 映子

## 諸規程改正

### ■ 平成16年 7月～平成17年 1月までの諸規程の制定改廃関係

- 「医学部附属病院臨床研修医設置要綱」、「医学部附属病院臨床研修医の派遣に関する要綱」、「医学部附属病院歯科研修医設置要綱」の一部改正（平成16年 7月21日改正・施行）  
卒後臨床研修必修化に伴い、より多くの研修医を採用するため、所要の改正を行いました。
- 「他の大学等の授業科目の履修等に関する規程」の制定（平成16年 7月28日制定・施行）  
福島県高等教育協議会加盟大学間単位互換に関する協定により、他の大学又は短期大学の授業科目の履修及び特別聴講学生に関する必要な事項を定める目的で制定しました。
- 「看護学部学生委員会規程」の一部改正（平成16年 8月 2日改正・施行）  
日本学生支援機構が、独立行政法人日本学生支援機構法に基づき、平成16年 4月に設置され、奨学金事業等を日本育英会から継承したことから、所要の改正を行いました。
- 「医学部附属病院医療宿日直員に関する要綱」の一部改正（平成16年 9月16日改正・施行）  
卒後臨床研修必修化後の臨床研修医について、宿日直

回数、1月当たり研修1年次は2回、研修2年次は4回と定め、指導医又は上級医との原則2人で実施するため、所要の改正を行いました。

5 「医学部長選考規程」の制定（平成16年10月20日制定・施行）

医学部長選挙について、学長選挙と同様に、候補者の推薦制を導入し、所信表明がなされるようにするため、従来の規程を廃止し、新たな規程を制定しました。

6 「医学部長選考規程施行細則」の制定（平成16年10月20日制定・施行）

医学部長選挙について、学長選挙と同様に、候補者の推薦制を導入し、所信表明がなされるようにするため、従来の施行細則を廃止し、新たな施行細則を制定しました。

7 「医学部附属病院院内感染対策委員会設置要綱」の一部改正（平成16年12月8日改正・施行）

本委員会の下部組織に、感染対策活動を迅速に行う実働部隊として、インフェクションコントロールチームを設置する目的で、所要の改正を行いました。

8 「附属図書館規程」の一部改正（平成17年1月1日改正・施行）

附属図書館の図書管理システム、自動入退館システムの更新及び入館ゲートの新設に伴い、利用者カードを従来のものからICカードに切り替えるため、所要の改正を行いました。

## 評議会・医学部教授会・看護学部教授会

### ■ 評 議 会

#### 【平成16年7月28日定例評議会】

・倫理委員会委員の選任

次のとおり選任された。

- 安村教授（医：公衆衛生学講座）
- 平岩教授（医：法医学講座）
- 山本教授（医：神経内科学講座）
- 丹羽教授（医：神経精神医学講座）
- 大下教授（看：基礎看護学領域）
- 荒川教授（看：成人看護学領域）
- 藤野教授（医：人文社会科学講座）
- 坪井孚夫（学外委員）
- 小口潔子（学外委員）
- 勢島昇（学外委員）

任期は、平成16年8月1日から2年間。

・国際交流委員会委員の改選

次のとおり選任された。

- 福島教授（医：衛生学講座）
- 飯田教授（医：眼科学講座）
- 岡田教授（医：数学講座）
- 林教授（看：総合科学部門）

任期は、平成16年9月18日から2年間。

#### 【平成16年10月27日定例評議会】

・組換えDNA実験安全委員会委員の補充

次のとおり選任された。

- 福島教授（医：衛生学講座）

任期は、平成17年3月31日まで。

#### 【平成16年11月24日定例評議会】

・副学長の選任

次のとおり選任された。

- 鈴木(仁)教授（医：小児科学講座）

就任は、平成16年12月1日から。

### ■ 医学部教授会

#### 【平成16年7月7日定例教授会】

・医学部受託研究受入審査委員会委員の改選

次のとおり選任された。

- 福島教授（衛生学講座）
- 本間教授（生体物質研究部門）
- 佐藤(由)教授（内科学第二講座）
- 鈴木(仁)教授（小児科学講座）
- 藤野教授（人文社会科学講座）

任期は、平成16年7月20日から2年間。

#### 【平成16年7月21日定例教授会】

・医学部定数委員会委員の改選

次のとおり選任された。

- 生命科学・社会医学系から
- 福島教授（衛生学講座）
- 臨床医学系から
- 飯田教授（眼科学講座）
- 大森教授（耳鼻咽喉科学講座）

任期は、平成16年8月1日から2年間。

#### 【平成17年1月19日定例教授会】

・医学部海外出張審議委員会委員の改選

次のとおり選任された。

- 生命科学・社会医学系から
- 福島教授（衛生学講座）
- 臨床医学系から
- 上田教授（形成外科）
- 総合科学系から
- 小林(仁)教授（物理学講座）

任期は、平成17年1月20日から2年間。

※ 看護学部教授会は、該当ありませんでした。

## 雑 報

### ■ 倫理委員会

【平成16年 7月12日の委員会で承認又は条件付承認とされたもの（新規申請のみ）】

- No.299 只見町在住更年期女性での動脈硬化と骨量減少に関わる諸要因の検討  
(申請者：看護学部総合科学部門 教授 志賀令明)
- No.312 漿膜浸潤胃癌症例を対象とした術後補助化学療法の Factorial Design によるランダム化比較試験  
(申請者：医学部外科学第二講座 教授 竹之下誠一)
- No.313 硬膜外くも膜囊種関連遺伝子の遺伝子解析  
(申請者：医学部整形外科学講座 講師 矢吹省司)
- No.314 進行再発食道癌症例に対する Docetaxel, Cisplatin, 5-FU 併用化学療法 第 I / II 相臨床試験  
(申請者：医学部外科学第一講座 教授 後藤満一)
- No.315 局所進行胃癌に対する術前 CPT -11 + TS -1 併用化学療法の第 II 相臨床試験  
(申請者：医学部外科学第一講座 教授 後藤満一)
- No.316 進行・再発大腸癌に対する CPT -11/ TS -1 併用療法の第 I / II 相臨床試験  
(申請者：医学部外科学第一講座 教授 後藤満一)
- No.317 X染色体上に存在するリンパ管形成に関与する遺伝子異常の解析  
(申請者：医学部産科婦人科学講座 教授 佐藤 章)
- No.318 光トポグラフィー検査による精神疾患の病態研究  
(申請者：医学部神経精神医学講座 教授 丹羽真一)
- No.319 家庭用簡易乳癌自己検診装置（乳癌チェッカー）の臨床検討  
(申請者：医学部外科学第二講座 教授 竹之下誠一)
- No.320 遺伝性非ポリポーシス大腸がんに対する発がん予防臨床試験  
(申請者：医学部外科学第二講座 教授 竹之下誠一)

【平成16年 9月13日の委員会で承認又は条件付承認とされたもの（新規申請のみ）】

- No.321 呼吸器疾患の早期診断における呼気一酸化窒素 (Exhaled nitric oxide) および呼気凝集液 (Exhaled breath condensate) の有用性に関する検討  
(申請者：医学部呼吸器科 教授 棟方 充)
- No.322 アトピー性皮膚炎のアレルギー発症解明のための遺伝子多型解析  
(申請者：医学部皮膚科学講座 教授 金子史男)
- No.323 リウマチ性疾患患者検体中オステオポンチン濃度測定の意義  
(申請者：医学部内科学第二講座 教授 佐藤由紀夫)
- No.326 人工肛門保有者の QOL 評価—術後 5 年の経過で QOL は向上するか—

- (申請者：医学部外科学第二講座 教授 竹之下誠一)
- No.327 頸椎後方手術例における塩酸モルヒネを用いた先取り鎮痛効果の検討  
(申請者：医学部整形外科学講座 講師 矢吹省司)
- No.328 降圧剤の一種であるアンジオテンシン II 受容体 (Type I) 拮抗薬のインスリン抵抗性改善効果とその機序の解明  
(申請者：医学部内科学第三講座 教授 渡辺 毅)

【平成16年10月18日の委員会で承認又は条件付承認とされたもの（新規申請のみ）】

- No.329 糖尿病患者へのインスリン治療実施に関するアンケート調査  
(申請者：医学部内科学第三講座 教授 渡辺 毅)
- No.330 小児急性リンパ性白血病に対する多施設共同後期第 II 相臨床試験 ALL 2004  
(申請者：医学部小児科学講座 教授 鈴木 仁)
- No.331 乳児急性リンパ性白血病に対する早期同種造血幹細胞移植療法の有効性に関する後期第 II 相試験 MLL 03  
(申請者：医学部小児科学講座 教授 鈴木 仁)
- No.332 横紋筋肉種低リスク A 群患者に対する短期間に VAC 1, 2 療法の有効性および安全性の評価第 II 相臨床試験実施計画書 JRS -1 LRA 0401  
(申請者：医学部小児科学講座 教授 鈴木 仁)
- No.333 横紋筋肉種低リスク B 群患者に対する短期間に VAC 2, 2 / VA 療法の有効性および安全性の評価第 II 相臨床試験実施計画書 JRS -1 LRB 0402  
(申請者：医学部小児科学講座 教授 鈴木 仁)
- No.334 横紋筋肉種中間リスク群に対する iVAC 療法の有効性および安全性に関する多施設共同研究実施計画書 JRS -1 IR 0401  
(申請者：医学部小児科学講座 教授 鈴木 仁)
- No.335 進行性・転移性横紋筋肉種に対する自家末梢血幹細胞救護療法を併用した大量化学療法の第 II 相臨床試験実施計画書  
(申請者：医学部小児科学講座 教授 鈴木 仁)
- No.336 医療事故を防止するための対策の効果的な実施及び評価に関する研究  
(申請者：医学部内科学第一講座 教授 丸山幸夫)
- 【平成16年11月 5日の委員会で承認又は条件付承認とされたもの（新規申請のみ）】
- No.338 REACH Registry;  
REduction of Atherothrombosis for Continued Health  
(申請者：医学部内科学第三講座 教授 渡辺 毅)
- No.339 REACH Registry;  
REduction of Atherothrombosis for Continued Health  
(申請者：医学部内科学第一講座 教授 丸山幸夫)

- No.340 健常成人におけるお血漢方方剤の血漿 NO 濃度に対する影響  
(申請者：医学部薬理学講座 教授 木村純子)
- No.341 高齢者の大腿骨頸部・転子部骨折後の ADL、QOL の評価  
(申請者：医学部公衆衛生学講座 教授 安村誠司)
- No.342 療養病床、精神病院における疥癬発生状況に関するアンケート調査  
(申請者：医学部公衆衛生学講座 教授 安村誠司)
- No.343 抗風疹ウイルス抗体の産生と測定上の問題  
(申請者：医学部臨床検査医学講座 教授 吉田 浩)
- No.344 胃癌におけるセンチネルリンパ節を指標としたリンパ節転移診断に関する臨床試験—放射性同位元素指標二ロイド (RI) および色素併用法—  
(申請者：医学部外科学第一講座 教授 後藤満一)
- 【平成16年12月3日の委員会で承認又は条件付承認とされたもの(新規申請のみ)】**
- No.346 インスリン抵抗性改善薬投与によるインスリン抵抗性改善作用とアディポカイン遺伝子変異との関係についての検討  
(申請者：医学部内科学第三講座 教授 渡辺 毅)
- No.347 ヒト悪性骨軟部腫瘍における遺伝子研究と診断、ならびに腫瘍細胞株の樹立  
(申請者：医学部整形外科学講座 教授 菊地臣一)
- No.349 新人看護師の看護基本技術の修得状況—日常生活援助技術の自己評価より—  
(申請者：看護学部基礎看護学領域 教授 大下静香)

## ■ 女性専門外来の開設について

附属病院では、女性特有の症状や健康に対する悩みに女性医師が対応するため、平成16年12月16日より「女性専門外来」を開設いたしました。

女性専門外来は、「今まで女性特有のこころや体の悩みを男性の医師に話すことができなかった、できれば女性の医師に相談したい」という女性の切実な声に応えるものです。

当院での診療は、第2・4月曜日と第1・3・5木曜日の午後2時から午後4時30分まで内科新患室で行っております。診療は2回までとし、専門的検査、治療が必要と判断された場合は、院内各診療科あるいは院外医師へ紹介いたします。

現在、8診療科、11名の女性医師が当番日を決めて診療しています。電話での完全予約制で毎週月曜日と木曜日の午後2時から午後4時30分まで、受付担当看護師が患者さんの症状をお伺いし、専門医師の当番日に予約を入れています。予約件数は順調に推移しており、患者さんからも「女性の先生で話しやすかった。話をじっくりと聞いてもらえてよかった」などと好評をいただいているところです。

近年、全国に相次いで女性専門外来が開設されていますが、本外来は、男女の身体的かつ社会的環境における差を配慮した医療、すなわち「性差医療」を実践できる場としても期待されております。

当院の女性専門外来では、このような性差医療を視野に入れながら、患者さんの訴えを傾聴し、院内外の女性医師と密に連携をとることにより内容を充実させていきたいと考えています。

## ■ 参与会の設置について

平成18年度公立大学法人化に向けて、魅力ある大学づくりに資するため、学外の有識者で構成する「福島県立医科大学参与会」を新たに設置しました。

平成17年1月27日に第1回参与会を開催し、「公立大学



法人化に向けた大学づくりについて」を議題に、法人化後に係る中期目標・中期計画素案の概要に対する御意見等を伺いました。

### 【参与】

財団法人太田総合病院理事長	太田 保世
山形大学医学部長	嘉山 孝正
公認会計士	菅家 節子
福島県町村会長	車田 次夫
福島県医師会長	小山 菊雄
武蔵野大学学長	齋藤 諦淳 (会長)
福島県商工会議所連合会長	佐藤 勝三
東邦銀行取締役頭取	瀬谷 俊雄
自治医科大学看護学部長	野口美和子
福島県産業技術顧問	柳田 公雄

(五十音順、敬称略)

### ■ 文部科学省「現代的教育ニーズ取組支援プログラム」の採択について

文部科学省の「現代的教育ニーズ取組支援プログラム」に申請していた本学の「地域連携型医学教育（誰もが健康で安心して暮らせる地域社会の実現）」が、平成16年度から平成18年度事業として採択されました。

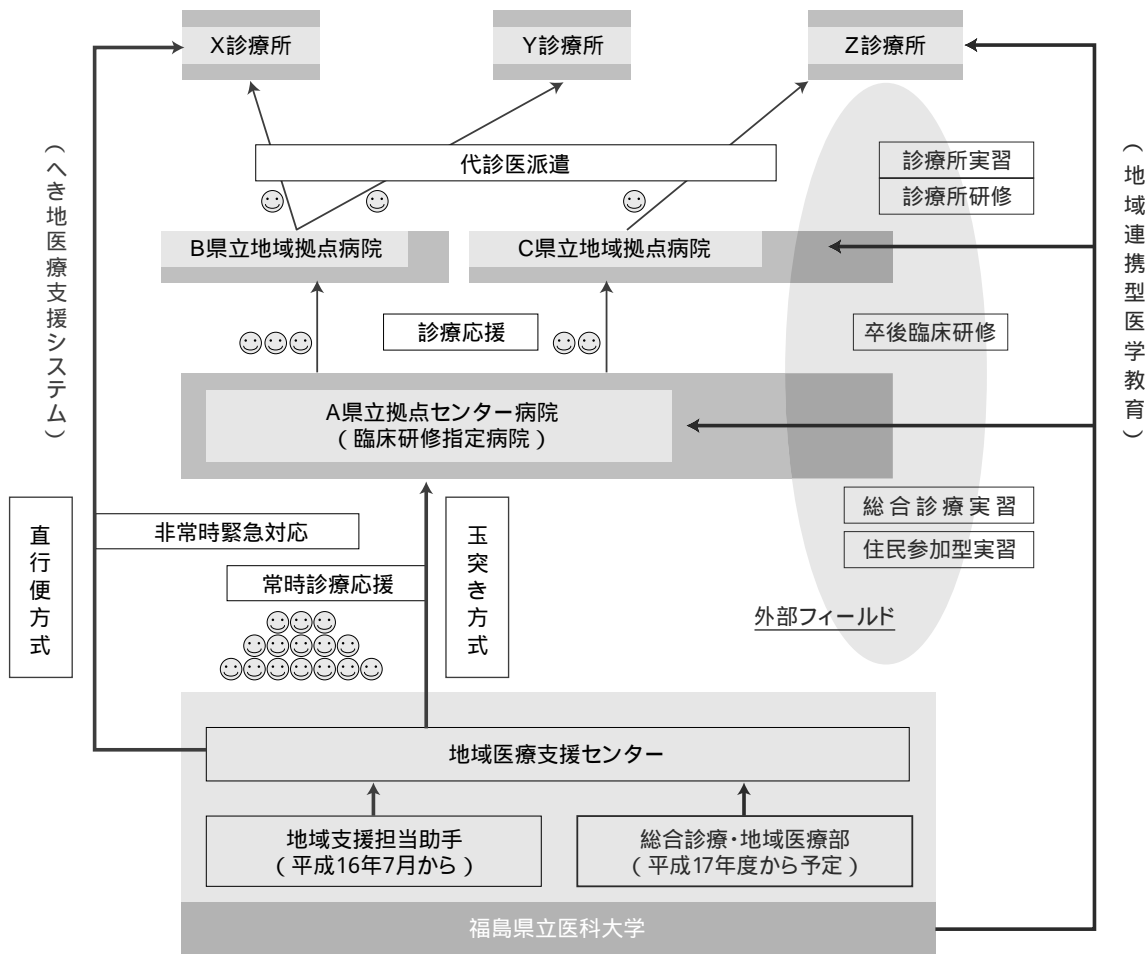
この地域連携型医学教育は、熱意と実力を併せ持ち真に地域で活躍する医師を育成するとともに、地域の医師を生涯にわたりサポートするために、医学部学生に対する地域住民参加型医学教育、臨床研修医への総合診療・地域医療研修、医師キャリアのどの時期でも学べる生涯型医学教育（地域医療支援型大学院）に取り組むという内容となっています。

特に、平成16年7月に立ち上げたへき地医療を直接支援

する「へき地医療支援システム」と「地域連携型医学教育」との融合により、教育のフィールドを地域医療最前線となる地域拠点病院、自治体診療所等外部の医療現場に設定し、また、医師キャリアのどの時期でも学べる生涯型医学教育により地域の医師を大学がサポートするなど、より現実的な医学教育の展開が、この地域連携型医学教育の大きな特色となっています。

平成16年度事業としては、地域と大学との連携により、地域医療実態調査、学生による地域医療ニーズ調査、地域医療を考える県民フォーラムの開催、地域医療機関との連絡会議の設置、家庭健康管理実習などを実施いたしました。

### 《へき地医療支援システムと地域連携型医学教育の融合》



平成16年度科学研究費補助金採択状況

(平成17年3月1日現在)

所 属	職	氏 名	研究種目	課題番号	研 究 課 題 名	金 額 (千円)		
						16年度	17年度	18年度
医 学 部	教 授	八木沼洋行	基盤研究(C)(2)	16500223	発生早期に起こる運動神経細胞死における転写因子の関与の解明	2,700	1,000	0
	講 師	佐藤 昇	基盤研究(C)(2)	15590165	Bax発現系による発生過程で起こるニューロン死のメカニズム解析	1,700	0	0
	講 師	本間 俊作	基盤研究(C)(2)	15500243	脊髄運動ニューロンサブタイプのdelta-notch系による分化調節機構	1,200	0	0
	教 授	坂間 章博	基盤研究(C)(2)	15590202	アークボリンによる細胞膨張性アミノ酸放出の制御機構	1,200	0	0
	教 授	香山 雪彦	基盤研究(C)(2)	16614009	オレキシン系による覚醒およびナルコレプシー調節機構の神経生理学的解析	2,700	1,200	0
	教 授	藤田 禎三	特定領域研究(2)	13143204	自然免疫における生体防御レクチンの役割	19,800	19,800	0
	助 手	岩城 大輔	若手研究(B)	16790291	ToII様受容体病原体認識機構におけるコレクチンの役割	1,000	1,200	1,200
	助 手	松岡 功	基盤研究(C)(2)	16590201	炎症反応におけるプリン受容体シグナリングによる制御機構の解明	2,400	1,200	0
	教 授	錫谷 達夫	基盤研究(C)(2)	16590990	非結核性抗酸菌に対する新たな検査法の開発と感染症例の検討	1,600	1,700	0
	講 師	吉良 俊彦	若手研究(B)	16790229	EBV関連疾患治療法開発のための動物モデルの構築と治療実験	1,800	1,800	0
	助 手	橋本 浩一	若手研究(B)	15790534	プロスタグランジン <sub>2</sub> 産生能とRSウイルス感染症の重症度との関連	700	600	0
	助 手	石橋 啓	基盤研究(C)(2)	16591609	サイトメガロウイルス感染の腎移植術後拒絶反応への免疫病理学的解析	2,500	1,100	0
	講 師	中村 直哉	基盤研究(C)(2)	15590307	乳腺に原発する悪性リンパ腫の生物学的悪性度の解明	1,000	0	0
	教 授	鈴木 和光	基盤研究(C)(2)	15590308	ヒト胃癌・大腸癌における脂肪酸結合蛋白の発現とその生物学的役割	1,200	0	0
	教 授	福島 哲仁	萌芽研究	14657090	ナイアシン欠乏状態がパーキンソン病を予防する可能性を実証する疫学研究	800	0	0
	助 手	前田 享史	若手研究(A)	16687010	ヒトの体温調節機能における生理的多型性と機能的潜在性に関する研究	6,400	8,200	3,600
	教 授	安村 誠司	基盤研究(B)(1)	15390207	「閉じこもり」高齢者の癒えざり予防を目的とした無作為化比較試験	3,900	0	0
	助 手	後藤 あや	若手研究(B)	16790338	妊娠の計画性が母子の健康と育児に及ぼす影響についてのアジア2国間比較	1,200	500	0
	助 手	牧上久仁子	基盤研究(C)(2)	16590506	療養型病棟群・精神病院における疼痛の予防対策の確立に関する研究	1,100	900	900
	教 授	平岩 幸一	基盤研究(B)(2)	15390216	上気道内細菌叢と植物プランクトン葉緑体関連遺伝子による弱死の証明	1,400	0	0
講 師	栗崎恵美子	基盤研究(C)(1)	15590582	虚血/再灌流に伴う骨格筋NOS産生スパーオキサイドによるシヨック発現機構	800	0	0	
講 師	阿部すみ子	基盤研究(C)(2)	15590583	ヒト精液特異CD10-CD13酵素複合体の生理活性	1,000	0	0	
助 手	石橋 敏幸	基盤研究(C)(2)	15590762	ブタモデルを用いた冠動脈狭窄性心臓病の病態解明と治療	1,300	0	0	
講 師	石川 和信	基盤研究(C)(2)	16590703	ヘムオキシゲナーゼによる心血管系防御機構の解明と臨床診断への応用	2,300	1,300	0	
助 手	野地 秀義	若手研究(B)	16790538	発作性夜間血色素尿症のCD34+細胞へのPIG-A遺伝子導入による遺伝子治療	1,600	1,700	0	
助 手	中里 和彦	若手研究(B)	16790424	虚血再灌流心筋症のCD34+細胞へ心臓線維芽細胞由来物質の治療的役割と同等	1,800	1,600	0	
助 手	小林 浩子	若手研究(B)	15790513	微生物由来DNAがマウス関節炎モデルにおける関節炎の発症および抑制に与える影響	1,000	1,000	0	
助 手	旭 浩一	若手研究(B)	16790467	腎不全血管合併症進展抑制における酸化ストレス抑制の意義に関する研究	2,000	1,300	0	
教 授	後藤 満一	基盤研究(B)(2)	16390366	脾臓再構築による脾幹細胞の同定と展開	7,400	6,300	0	
助 手	寺島 雅典	基盤研究(C)(2)	15591422	自然免疫の賦活化による特異的癌免疫療法確立	1,100	0	0	
助 手	斎藤 拓朗	基盤研究(C)(2)	15591423	肝線維化に対する骨髄由来細胞の関与に関する研究—その機序の解明と治療への応用	1,700	0	0	
講 師	竹林 勇二	基盤研究(C)(2)	14572149	癌原発巣および転移巣における抗腫瘍剤耐性形質の比較検討	800	0	0	
助 手	大竹 徹	基盤研究(C)(2)	16591265	乳癌多発性の病理学および分子生物学的解析による乳房温存術適応拡大への応用	2,100	1,200	0	
助 手	佐久間 潤	若手研究(B)	15790776	脳血流不全に伴う運動誘発電位変化と組織学的変化に関する実験的検討	400	0	0	
教 授	菊地 臣一	基盤研究(B)(2)	15390463	腰椎退行性疾患の発痛機序—機械的、化学的因子の関与—	1,900	0	0	
講 師	矢吹 省司	基盤研究(C)(2)	16591502	腰椎間板ヘルニアによる坐骨神経痛発現のメカニズムの解明と新たな治療法の開発	2,200	700	0	
講 師	片寄 治男	基盤研究(C)(2)	15591771	ヒト精子核クロマチン構成蛋白の異常が妊孕性に与える影響についての研究	500	0	0	
助 手	三瓶 稔	若手研究(B)	16790611	羊胎子の慢性低酸素環境下におけるANP及びET-1レセプターの局在	2,600	800	0	



所 属	職	氏 名	研 究 種 目	課 題 番 号	研 究 課 題 名	金 額 (千円)	
						16年度	17年度
医 学 部	助手	尚文	若手研究(B)	16790962	腹膜高転移とトリーネ癌細胞株の腹膜中皮に対する接着能の検討と浸潤及び運動能の関与	2,900	500
	教授	鈴木 仁	基盤研究(C)(2)	16591045	IgA 腎症の進展に関与するウイルスの役割についての病態病理学的研究	1,700	1,200
	教授	飯田 知弘	基盤研究(C)(2)	15591842	中心性液性網脈絡膜症に関する副腎皮質ステロイドとカテコロールアミンの研究	800	0
	助教授	中村晃一郎	基盤研究(C)(2)	16591107	ブリオン蛋白による皮膚特異的樹状細胞の転写調節因子の制御に関する研究	1,300	700
	講師	尾山 徳孝	若手研究(B)	16790651	乾燥において発現異常を示す遺伝子群の病態形成に及ぼす重要性和質的評価の研究	1,300	1,200
	助手	相川 健	基盤研究(C)(2)	16591608	膀胱上皮細胞に発現するアセチルコリンとムスカリニンレセプターの蓄尿期での役割	1,700	1,700
	教授	大森 孝一	基盤研究(B)(2)	15390517	再生組織工学の手法を用いた頭頸部における臓器再生の研究	4,900	0
	助手	桑畑 直史	若手研究(B)	14770912	ヒト頭頸骨における鼓室・乳突峰巣の発育に関する病理組織学的、免疫組織化学的研究	600	0
	助手	松塚 崇	若手研究(B)	15790947	頭頸部癌に対するセレンチネルリンパ節の検出	1,000	0
	教授	丹羽 真一	基盤研究(C)(2)	16591149	統合失調症モデル動物に対するD-serine と新規抗精神病薬の治療効果比較	2,100	600
	助教授	田子 久夫	基盤研究(C)(2)	16591150	アセチルコリンエステラーゼ注入による脳内変化の研究	900	400
	助手	竹内 賢	若手研究(B)	14770509	乳がん患者の不安・抑うつに対する心理社会療法の効果の縦断的検討	600	0
	教授	村川 雅洋	基盤研究(C)(2)	15591649	術中覚醒の神経化学的研究	1,300	0
	教授	鈴木 雅夫	基盤研究(C)(2)	15591650	マグネシウムの鎮痛作用発現機構に関する免疫組織化学的研究	1,200	0
	講師	中川(末)恵子	萌芽研究	16650223	近世後期における在村医の地域ネットワークの研究—医療協力・症例研究会を中心に—	600	500
	助手	齋藤 純平	若手研究(B)	15790416	アレルギー性呼吸器疾患発症における自然免疫関連分子 (MBL) の関与に関する研究	2,600	0
	助手	菅野 寿	基盤研究(C)(2)	15592122	Adriamycin の三叉神経第3枝への注入に関する研究	500	500
	講師	大川 敏昭	基盤研究(C)(2)	15591770	低栄養状態による子宮内プロラミングによる高血圧発症機序の解明	1,400	0
	講師	藤森 敬也	基盤研究(C)(2)	14571052	慢性低酸素血症による子宮内発育遅延胎児の成長過程における生体反応の研究	1,200	0
	教授	大戸 斉	基盤研究(B)(2)	14370361	妊娠・分娩による長期マイクログリアと免疫寛容：移植への展開	1,400	0
	講師	竹山 邦彦	基盤研究(C)(2)	16590952	Notch / Dlx5 伝達系を分子標的とした悪性リンパ腫の新規治療法の開発	2,100	1,500
	教授	本間 好	基盤研究(B)(2)	15390257	特発性肺線維症のエピジェネティクスに関する研究	5,200	0
	教授	本間 好	萌芽研究	16659305	精神神経疾患のゲノムエピジェネティクスに関する研究	1,600	1,700
助手	本間美和子	基盤研究(C)(2)	16570120	細胞周期進行におけるCK 2機能の解析	2,200	1,300	
講師	初沢 清隆	特定領域研究(2)	16044237	Phagocytosis 初期における小胞体と細胞膜の融合機構の解明	2,900	3,100	
講師	初沢 清隆	若手研究(B)	15780216	神経伝達物質開口放出における tomosyn の調節機構の解明	1,100	0	
教授	小林 和人	特定領域研究(2)	16015291	イムノトキシン細胞標的的法的法を利用した視床下核を介する運動制御機構の解析	4,900	0	
教授	小林 和人	基盤研究(B)(2)	16300102	線条体 GABA 性インターニューロンの行動生理学的役割に関する研究	5,400	2,900	
教授	小林 和人	萌芽研究	16650070	イムノトキシン細胞標的的法的法の霊長類脳機能研究への応用	1,400	1,300	
講師	八十島安伸	若手研究(B)	16700289	扁桃体ノルアドレナリン神経伝達による情動記憶再生の神経機構	1,600	1,000	
助教授	土橋 宣昭	基盤研究(B)(2)	14370282	生体内フリーラジカル計測用ESR-NMR ハイブリッド画像システムの開発	1,200	0	
講師	川島 理恵	萌芽研究	15659509	看護学基礎教育における「静脈内注射」の技術教育の実態に関する研究	700	800	
教授	荒川 唱子	基盤研究(C)(2)	15592283	がん化学療法患者の精神神経免疫系に及ぼすリラクゼーション技法の影響	1,800	800	
助教授	栗生田友子	萌芽研究	14657056	中途障害者が障害を受け容れる意味と生活の再構築に向けたケアリングのモデル開発	1,100	0	
講師	増渕 映子	若手研究(B)	16791351	療養環境、特に振動が患者のQOLに与える影響の評価法の開発	1,700	900	
助教授	大川 貴子	基盤研究(C)(2)	16592115	患者のエンパワメントを促す日常生活援助方法のプロトコル作成と評価に関する研究	1,200	1,200	
教授	真壁 玲子	基盤研究(C)(2)	14572287	乳がん体験者とその配偶者のソーシャル・サポートと精神的・身体的状況との関連	600	700	
看 護 学 部	助教授	川島 理恵	放射線同位元素研究施設		看護学基礎教育における「静脈内注射」の技術教育の実態に関する研究	700	800
	教授	荒川 唱子	成人看護学領域		がん化学療法患者の精神神経免疫系に及ぼすリラクゼーション技法の影響	1,800	800
	助教授	栗生田友子	家族看護学領域		中途障害者が障害を受け容れる意味と生活の再構築に向けたケアリングのモデル開発	1,100	0
	講師	増渕 映子	環境・保健学/看護管理学領域		療養環境、特に振動が患者のQOLに与える影響の評価法の開発	1,700	900
	助教授	大川 貴子	精神看護学領域		患者のエンパワメントを促す日常生活援助方法のプロトコル作成と評価に関する研究	1,200	1,200
	教授	真壁 玲子	応用看護学部門		乳がん体験者とその配偶者のソーシャル・サポートと精神的・身体的状況との関連	600	700
	助教授	川島 理恵	看護学基礎教育		看護学基礎教育における「静脈内注射」の技術教育の実態に関する研究	700	800
	教授	荒川 唱子	成人看護学領域		がん化学療法患者の精神神経免疫系に及ぼすリラクゼーション技法の影響	1,800	800
	助教授	栗生田友子	家族看護学領域		中途障害者が障害を受け容れる意味と生活の再構築に向けたケアリングのモデル開発	1,100	0
	講師	増渕 映子	環境・保健学/看護管理学領域		療養環境、特に振動が患者のQOLに与える影響の評価法の開発	1,700	900

編集発行 福島県立医科大学事務局  
総務領域総務企画グループ  
〒960-1295 福島県福島市光が丘1番地  
TEL 024(547)1826 FAX 024(547)1995